

## 医療機関・薬局 の受診等に あたっの留意点

国民健康保険課  
☎ 973 - 3202

現在、休日や夜間において、軽症の患者さんの救急医療への受診が増加し、緊急性の高い重症の患者さんの治療に支障をきたすケースが発生しており、そのことが病院勤務医の負担が過重となる原因のひとつにもなっています。また、休日・夜間は医療機関に支払われる医療費も高く設定されており、窓口負担も高くなります。必要な人が安心して医療を受けられるようにするとともに、最終的に保険料や窓口負担として皆様に御負担いただく医療費を有効に活用するため、医療機関・薬局を受診等する際には、以下のことに留意しましょう。

● **休日や夜間**に開いている救急医療機関は、緊急性の高い患者さんを受け入れるためのものです。休日や夜間に受診しようとする際には、平日の時間内に受診することができないのか、もう一度考えてみましょう。

● **かかりつけの医師**を持ち、気になることがあつたらまずはおかかりつけの医師に相談しましょう。

● 同じ病気で**複数の**医療機関を受診することは、控えましょう。医療費を増やしてしまうだけでなく、重複する検査や投薬により、かえって体に悪影響を与えてしまうなどの心配もあります。今受けている治療に不安などがあるときには、そのことを医師に伝えて話し合ってみましょう。

● 薬が**余っている**ときは、医師や薬剤師に相談しましょう。(薬のもらいすぎに注意しましょう。)



● 薬は飲み合わせによっては、**副作用**を生じることがあります。お薬手帳の活用などにより、既に処方されている薬を医師や薬剤師に伝えましょう。

● 後発医薬品(ジェネリック医薬品)は、先発医薬品と同等の効果を発揮する医薬品であり、費用が先発医薬品よりも安くなります。「**ジェネリック**」医薬品希望カードを医療機関や薬局に提示することなどにより、後発医薬品の利用について相談のつてもらうことができます。

● 夜間・休日にお子さんの急な病気で心配になったら、まず、小児救急電話相談(☎ **8000**)の利用

相談日時は、毎日・夜間 午後7時～午後11時

**沖縄県の相談窓口**

すぐ病院に行って、受診して下さい。

そのくらいの症状なら大丈夫でしょう。もう少し様子を見て下さい。

看護師による電話対応、医師の支援

**#8000**

沖縄県の相談窓口へ自動転送

**小さなお子さんをお持ちのご家庭**

子どもがぐったりして、少し熱があるのですが...

夜間の子どもの急な病気に困ったら、#8000をプッシュ!

用を考えましょう。小児科の医師や看護師からお子さんの症状に応じた適切な対処の仕方などのアドバイスが受けられます。(相談日時は、毎日・夜間 午後7時～午後11時 沖縄県の相談窓口へつながります。)